

令和 6 年 9 月 6 日



商工部企業立地課企業誘致係

担当：豊島、安藤

内線：3758

直通：092-643-3441

トヨタ自動車グループと日産自動車(株)が新工場建設

- ・トヨタ自動車グループが新松山臨海工業団地で次世代BEV向けの電池を生産
- ・日産自動車株式会社が福岡県で軽電気自動車に搭載するLFPバッテリーを生産

「北部九州自動車産業グリーン先進拠点プロジェクト」が大きく前進！！ 福岡県が「先進モビリティ」一大生産拠点へ

- トヨタ自動車株式会社（本社：愛知県豊田市）とプライムアースEVエナジー株式会社（本社：静岡県湖西市）^{※1}が、本県の「新松山臨海工業団地」に九州新工場を建設し、次世代BEV（次世代電気自動車）等への搭載を目指している次世代電池（パフォーマンス版）の生産を行うことを決定しました。
次世代電池（パフォーマンス版）は、現行車種であるbZ4Xに搭載している電池よりも航続距離やコスト、充電時間等の面でパフォーマンス性を高めたもので^{※2}、九州新工場で2028年の生産開始が予定されています^{※3}。
- また、日産自動車株式会社は、2028年に軽電気自動車に搭載する予定のLFPバッテリー^{※4}を開発・量産する計画を明らかにし^{※5}、そのための新工場を福岡県内に建設する予定としています。
日産自動車株式会社は、より手頃な電気自動車を提供するための将来技術の一つとして、LFPバッテリーを採用しています。
- 九州にはEVや自動運転に必要な車載半導体や画像センサーなどの先端技術の生産拠点が集積しており、今回、新たに電気自動車の心臓部ともいえるべきEV電池の工場が本県に立地することで、「北部九州自動車産業グリーン先進拠点プロジェクト」は大きく前進します、本県が「先進モビリティ」の一大生産拠点へと発展していく新時代が幕を開けます。

※1 令和6年10月1日から「トヨタバッテリー株式会社」に社名変更予定

※2 次世代電池（パフォーマンス版）

トヨタ自動車の電動車 bZ4X（ビズイーフォーエックス）に搭載している電池と比べ、①航続距離2倍/1,000kmを実現（空力や軽量化などの車両効率向上分を含む）、②コスト20%減、③急速充電20分以下を目指すパフォーマンスを高めた次世代電池（参考：トヨタ自動車「統合報告書2023」）

※3 九州新工場での生産について、トヨタ自動車株式会社とプライムアースEVエナジーは、本日付で、経済産業省から「蓄電池に係る供給確保計画」として認定。

※4 リン酸鉄リチウムイオンバッテリー

※5 車載用蓄電池（LFPバッテリー）の開発および量産について、日産自動車株式会社は、本日付で、経済産業省から「蓄電池に係る供給確保計画」として認定。

○トヨタ自動車グループによる工場建設について

1 新工場概要

事業主体	トヨタ自動車株式会社（用地購入） プライムアースEVエナジー株式会社（工場建設及び生産）
立地場所	苅田港新松山臨海工業団地第2期分譲地（京都郡苅田町新松山2丁目）
面積	敷地面積 276,517.78㎡
操業開始予定	令和10年（2028年）
業務内容	次世代電池の生産

2 企業概要

社名	トヨタ自動車株式会社
代表者	代表取締役社長 佐藤 恒治（さとう こうじ）
本社所在地	愛知県豊田市トヨタ町1番地
設立	昭和12年8月28日
資本金	6,354億円
売上高	17兆5,755億円（令和6年3月期実績値）
従業員数	70,224人（令和6年3月末時点）
業務内容	自動車の生産・販売

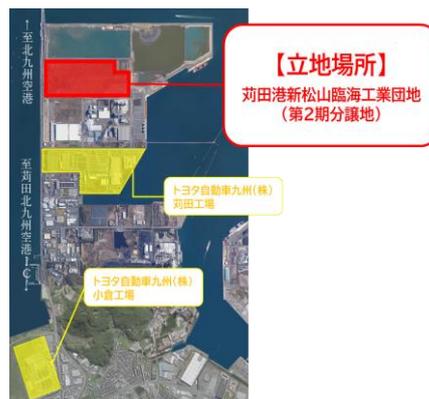
社名	プライムアースEVエナジー株式会社 （10月1日からトヨタバッテリー株式会社に社名変更予定）
代表者	代表取締役社長 岡田 政道（おかだ まさみち）
本社所在地	静岡県湖西市岡崎20番地
設立	平成8年12月11日
資本金	200億円
売上高	2,378億円（令和5年度実績）
従業員数	4,881名（令和6年6月時点）
業務内容	HEV用ニッケル水素バッテリー、リチウムイオンバッテリー バッテリーマネジメントシステムの開発・製造・販売

3 新松山臨海工業団地第2期分譲地の概要

所在地	京都郡苅田町新松山2丁目
分譲面積	276,517.78㎡
分譲価格	22,000円/㎡（72,600円/坪）
アクセス	北九州空港（3km）、苅田北九州空港IC（3km）、国道10号（2km）

新松山臨海工業団地についてのお問合せ窓口：県土整備部港湾課管理係（092-643-3674）

【周辺地図】



- 4 新工場建設決定に係る荻田町 遠田孝一町長コメント
 - ・別紙のとおり

- 5 トヨタ自動車株式会社及びプライムアースEVエネルギー株式会社のリリース資料
各社のHPからご覧ください。
 - ・トヨタ自動車株式会社リリース名
次世代 BEV 向け電池と全固体電池の開発・生産に向けた「蓄電池に係る供給確保計画」が経済産業省より認定
 - ・プライムアースEVエネルギー株式会社リリース名
次世代 BEV 向け電池の生産に向けた「蓄電池に係る供給確保計画」が経済産業省より認定

○日産自動車株式会社による工場建設について

1 概 要

福岡県内に建設 ※現在、土地の契約に向けて調整中のため非公表

2 企業概要

社 名	日産自動車株式会社
代 表 者	代表取締役社長 内田 誠（うちだ まこと）
本社所在地	神奈川県横浜市西区高島一丁目1番1号
設 立	昭和8年12月26日
資 本 金	6,058億1,300万円
売 上 高	4兆1,872億円（令和6年3月期実績値）
従業員数	24,034名（令和6年3月末時点）
業務内容	自動車の製造、販売および関連事業

3 日産自動車株式会社のリリース資料

日産自動車株式会社のHPからご覧ください。

- ・日産自動車株式会社リリース名
日産の LFP バッテリーの開発および量産が経済産業省の「蓄電池に係る供給確保計画」として認定

(別紙)

トヨタ自動車(株)とプライムアースEVエネルギー(株)の 新工場建設に対する苅田町長コメント

このたび、トヨタ自動車株式会社とプライムアースEVエネルギー株式会社には、新松山臨海工業団地へ九州新工場の建設を決定していただき、心から感謝申し上げます。

苅田町は、東九州自動車道・苅田北九州空港インターチェンジ、国際貿易港の苅田港、24時間運用可能な北九州空港といった交通インフラが整備され、陸・海・空の交通結節点となっており、自動車産業を中心とした「ものづくり」の町として発展してまいりました。

また、苅田町においては、カーボンニュートラルに向けた取組みを積極的に行い、持続可能な社会を構築するため、ゼロカーボンシティ苅田を宣言しております。

今回の九州新工場建設は、本町の「ものづくり産業」をさらに厚くするとともに、地域経済の更なる活性化とカーボンニュートラル社会の実現に寄与するものと、大変嬉しく、また心強く思っています。

町といたしましては、今後の新工場の建設、事業活動が円滑に進展するよう、福岡県と共に支援してまいります。

苅田町長 遠田 孝一

